

平成26年度

一般会計ほか当初予算内容に 9議員が質疑！

勝部俊徳議員

○各該当事業の報酬

勝部 H26年度一般会計ベースでの「報酬」総額が四千四百十六万円。対前年度比約三百七十二万円増の理由は。

総務課長 鳥獣対策をはじめ農林漁業センサスなどの増要因による。

○各消費税対応

勝部 この四月から消費税アップによる一般会計ベースへの影響見込額は。

総務課長 約四千四百万円消費増額を見込んでいる。

勝部 町へ入る「地方消費税交付金」の増収見込額は。

総務課長 五%から八%への十二分の二ヶ月分は約一千七百万円増を見込んでいる。

勝部 消費税アップに伴う地方交付税の単位費用のアップ見込みは。

総務課長 具体的には、まだ未定。ただし、社会保障関連経費は、増額となる見込み。

渡部 勇議員

○情報処理委託料

渡部 委託料四千五百八十万円が予算計上されているが委託先は。

企画課長 鳥取情報センター他一社に委託。

○本気で頑張る産業支援

渡部 近年実施状況の件数が少なく、枠計上四百万円を必要とする。

商工観光課長 現在は、一〜二件の問い合わせしかないが、四百万円の予算計上を必要とする。

○町道管理事業

渡部 道路管理委託料(除草等)千五百二十九万円が計上されている。

除草の総面積は、何mか。また、処理方法は。

地域整備課長 面積は、一二九、六〇〇m²で、処理方法は受託者が処分する。

○他に二項目についても質問

・とっとりバーガーフエスタに補助金百万円
・総合計画審議会委員報酬十六万円

乾 裕議員

○旧日光保育所施設活用整備事業

乾 費用対効果は。

企画課長 運営は日光地区協議会が行うので推計しにくい。

○運営の支援とは。

企画課長 広告宣伝、メニュー、光熱水費支援等。

乾 農産物等のネット販売の考えは。

企画課長 鳥取環境大学との交流の中で動きがあれば支援したい。

○検診事業

乾 ピロリ菌検査内容は。

健康対策課長 二十歳検診、三十五歳〜七十歳までの方を対象。健康カレンダーは各種検診日程など掲載予定。

○学校給食について

乾 新年度より学校給食費一食あたり三十円から五十円に補助金を増額、未払いとの整合性は。

教育次長 物価上昇、消費税増を考慮した。

教育長 未払いについては、なくしていく施策を展開していく。

幸本 元議員

○生ごみ減量化事業

幸本 給食センターや保育所からの生ごみの収集運搬は委託に含まれるか。

地域整備課長 委託に含まれない。堆肥化処理業者まで公用車で運ぶ予定にしている。

○鳥獣被害対策実施事業

幸本 鳥獣被害対策実施隊の設立とあるが、鳥獣の個体数を減らすことは考えていないか。

産業課長 実施隊は緊急対応としての捕獲や追い払い。個体数減は猟友会委託と分担して行う。イノシシ駆除を百頭から百五十頭に増やす計画である。

○公園墓地管理事業

幸本 墓地の環境整備を直営から委託に切替えるがあるが、委託内容は。

地域整備課長 草刈りを年三回、剪定を年一回程度考えている。既販売更地で管理がされていない土地については、持ち主に連絡して処理管理をお願いしている。



鳥獣被害対策



学校給食 (八郷小学校)

杉本大介議員

○検診事業
杉本 新たに実施するピロリ菌検査。二十歳も検討されるといふことだが、二十歳といえ、こちらに住民登録があつても町外に住まわれていても不思議ではない年齢。周知の方法や実施時期などについてはどうか。

健康対策課長 個別に文書などで案内をする。時期については、成人式に実施したい。

○防災体制整備事業
杉本 タブレットで現場の状況をリアルタイムで本部へ報告ということだが、その手法は。

総務課長 月額三千七百九十円で無線LANルータを契約して、インターネットを介して転送する。

杉本 将来的に、住民との相互の災害情報のやりとりには、SNSを利用されることは視野にあるか。

企画課長 選択肢の一つとして、視野にはある。

幅田千富美議員

○消費税増税について
幅田 消費税増税に伴う上下水道、ゆうあいパル、リフト、ごみ処理料アップの住民への影響は。

町長 それらの料金改定までに止めている。

○臨時職員賃金の改善
幅田 改善の内容は。

総務課長 有資格臨時職員の時給を年間一カ月分支給する予定。

○生活保護扶助費
幅田 前年度比約二千六百万円減の理由は。

福祉課長 医療扶助費が大きく減少した。

○紙おむつペレットポイラー環境試験
幅田 試験委託は必要か。

地域整備課長 燃料化は全国初なので調査実施中。新しい学校創り準備協議会設置事業

幅田 統合が明確になつてからの設置なので。

教育長 議会特別委員会中間報告を踏まえ進めたい。

・他に二項目 個人番号法システム改修等委託料

永井欣也議員

○太陽光発電助成事業
永井 太陽光発電システム、太陽熱温水器設置に新たに薪・木質ペレットストーブが加わつたが。

地域整備課長 継続事業は実績を勘案。薪ストーブ等は県補助対象になり問い合わせあり予算化した。

町長 薪ストーブは公益性や劣るが、選択肢増という事で取り組みたい。

○一時保育について
永井 こしきについて溝口保育所でも開始とのこと、職員配置は十分か。

福祉課長 申込児数を基準に障害児加配等を含め有資格保育士を配置する。

○中学校区ジョイントプラン推進事業
永井 「伯耆A♥学習」の目指すところと学校教育専門員の想定人材は。

教育長 小三〜中三の七年間の総合学習を再編、地域学習と生き方学習を二軸として進める。

教育専門員は教員OBの採用を予定している。

篠原 天議員

○農工商連携推進事業
篠原 推進費全体で、前年度比三百万円弱の減額となっているがその意図は？

商工観光課長 従来どおり、特産品等紹介するイベント、展示会への出店、広報活動は継続するが、今予算においては、他事業名に振り分けて予算計上したもので、何ら従来の方針を変更するものではない。

○小中一貫教育カリキュラム
篠原 今後三年間をかけて、小中一貫教育カリキュラムを策定する計画だが、現場導入はいつ？

教育長 今後、総合的学習をはじめ、各教科について系統立てたカリキュラムを作成し、完成したもののから、随時現場に導入していく。

大森英一議員

○H26年度一般会計予算提案理由説明について
大森 「主な施策」十一項目の表題が、前年度と全く一緒であり、工夫と精細に欠けるのではないか。来年度の課題は何か。

町長 来年度、大事になると思うことを項目立てて説明したつもりである。

大森 地方交付税の大幅削減がH26年度の特徴であるが。

町長 地方交付税については負担費用が示され、それに基づいて試算し、さらに噛み砕いて予算化している。

大森 提案理由は町長の方針を示す場、町民へのPRでもあるが。

町長 大きく動いている項目には説明責任がある。持続性、継続性を重視するのが私の目指す基礎自治体の姿であり、行政スタイルである。その充実には内省を繰り返すことで少しずつ良くなっていく。そういう運営をしている。



溝口保育所でも始まる一時保育



紙おむつポイラー（町岸本保健福祉センター）